

多久市民1人が1日に出すごみの量は  
**平均742g / 日 (平成23年度)**  
 平成23年度の処理費用は  
**約1億7,489万円でした。**  
 ※人件費は除く

「夏本番に向けてダイエット」という見出しをよく目にしますが、自分の体重を減らすダイエットではなく、ごみを減らす「ごみダイエット」について考えてみませんか？  
 多久市のごみ処理の実態と、ごみ焼却によるカロリーについて知り、「ごみダイエット」を実践して、より美しい多久市を目指しましょう！



平成23年度に多久市で処理をしたごみの量は、約5,869tとなっています。この量を多久市民ひとり当たり換算すると、1日742gになります。みなさんのご協力により全国平均975gよりは少ない状況です。  
 「ごみダイエット」は、環境のためになることはもちろんですが、みなさんが納めている税金でまかっているごみ処理の費用を抑えることにもつながります。今後ごみを減らすしていく必要があります。

### 多久市のごみ処理ってどうなってるの？

ごみ処理は各自治体で違います。多久市の処理はどうなっているのか見てみよう！

量や金額等は全て平成23年度のものです。



家庭から

紙類



買取業者に「新聞」「ダンボール」「その他雑紙」として売却します。

売却量 250 t  
 (約101万円)

ビン類



清掃センターにて、手作業で無色、茶色、その他色、陶磁器類、ガラス類に分別します。

搬出量 185 t

不燃ごみ

金属類



清掃センターにて、手作業でさらに分別を行い金属の買取業者に売却します。

売却量 162 t  
 (約693万円)

可燃ごみ



清掃センターで、約900℃の高温で燃やします。ごみの量にもよりますが、8時30分から深夜1時まで燃やします。

焼却量 4,932 t

蛍光灯  
 リサイクル事業者で蛍光灯の原材料としてリサイクルされました。

陶磁器類、ガラス類  
 リサイクル事業者で砂の代替品としてリサイクルされました。

その他色のビン  
 容リ協を通じてリサイクル事業者で路床、路盤材として処理しました。

茶色のビン  
 容リ協を通じてリサイクル事業者でビンの材料として処理しました。

無色のビン  
 容リ協を通じてリサイクル事業者で処理しました。

飛灰  
 量は243 t。亜鉛や銅を取るようリサイクルされました。

主灰  
 量は503 t。埋立材としてリサイクルされました。

リサイクル等

※飛灰とは、焼却後ろ過装置で取れた細かいほこり状の灰

※主灰とは、焼却後に出る燃えがら